

有志舎の新刊です。2023年7月下旬刊行

ポスト島ぐるみの沖縄戦後史

古波藏 契 著

四六判・ハードカバー・316ページ 本体価格 2,800円

あの熱狂はいかにして生まれ、そして失われていったのか——

1950年代の島ぐるみ闘争は、沖縄全島を巻き込んだ。しかし時を経て、“島ぐるみの一体感”はどこか心もとなく響く。

人々の心性にまで浸透した米軍の統治戦術を読み解き、沖縄の“今”を逆照射する、次世代のための沖縄戦後史。

【目次】

序章	なぜ今「島ぐるみ」なのか
第一章	基地経済とムラ社会
第二章	島ぐるみ闘争の古さと新しさ
第三章	“ポスト島ぐるみ”の沖縄統治—その思想的背景
第四章	「沖縄版高度成長」の実像
第五章	「自由で民主的な労働運動」の訓育
第六章	不穏な農村—宮古版「島ぐるみ闘争」の興亡
終章	日本復帰と沖縄喪失

〈著者紹介〉古波藏 契（こはぐら けい）1990年生まれ、明治学院大学社会学部付属研究所研究員

～版元から～ 過酷な沖縄戦を経て、沖縄が基地の島へと変貌し、都市化が進んだ1950年代。銃剣とブルドーザーで故郷を追われた農民の訴えに、道行く人々は足を止めました——島ぐるみ闘争です。

しかし、現在の沖縄社会は、ここから遠く隔たったのではないか。沖縄戦後史の原点に立ち戻り、閉塞する沖縄の“今”を読み変える。次世代のための沖縄戦後史です。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	ポスト島ぐるみの沖縄戦後史 古波藏 契 著	沖縄史・日本史 (現代)
	ご担当	四六判・ハードカバー、316ページ 本体価格 2,800円	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。
	様	新刊 ISBN 978-4-908672-66-8 C1021	

ご注文は (株) JRC へ

FAX: 03-3294-2177

電話: 03-5283-2230

返品条件付注文です。